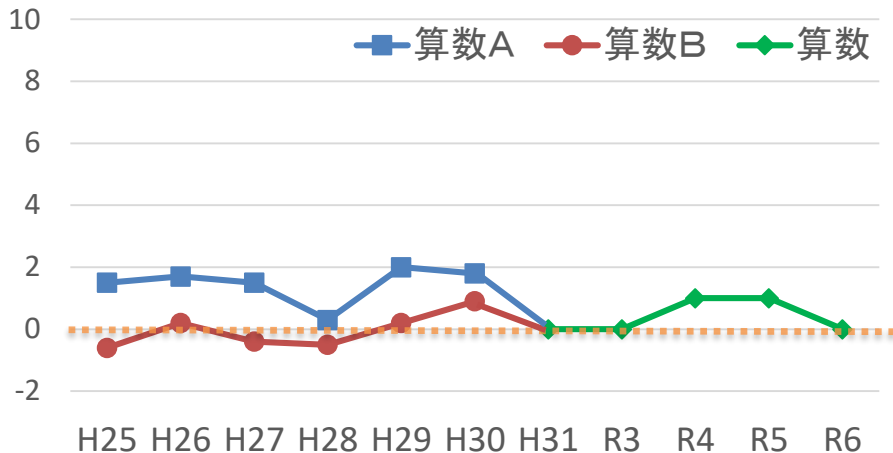


結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



○全国平均並みである。

2 領域別の結果

学習指導要領の領域	県	全国平均
A 数と計算	66.0	66.0
B 図形	66.8	66.3
C 測定	—	—
C 変化と関係	48.3	51.7
D データの活用	61.9	61.8

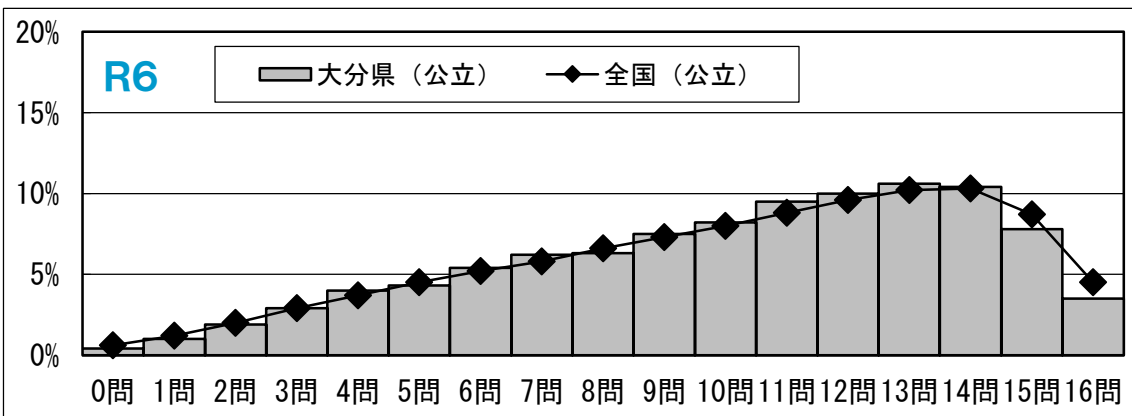
○「図形」「データの活用」の領域で全国平均を上回る。
▲「変化と関係」の領域は全国平均を下回る。

3 観点別の結果

観点	県	全国平均
知識・技能	72.5	72.8
思考・判断・表現	50.7	51.4

▲全ての観点で全国平均を下回る。

4 正答数度数分布



○低学力層の児童の割合(正答率20%以下)が全国平均より少ない。
▲正答数が全国平均以上(10問以上)の児童の割合は全国値を下回る。

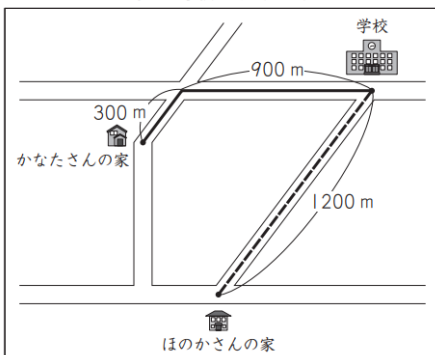
課題が見られた問題と指導の改善

正答率が低かった問題

大問4(3)【平均正答率 大分県26.9% 全国31.0%】

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題。

家から学校までの道のり



問題

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんはどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん 2 ほのかさん

解答類型

<正答の条件> 番号1を選び、次のA又はBのいずれかで、それぞれA①、A②の全て又はB①、B②の全てを書いている。

A 道のりが等しいことと、かかった時間について

A① かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことを表す言葉や数

A② かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことを表す言葉や数

B かなたさんとほのかさんのそれぞれの歩く速さについて

B① かなたさんの歩く速さをあらわす数や式、言葉

B② ほのかさんの歩く速さを表す数や式、言葉

正答例	【番号】 1	【わけ】 かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。
誤答例	【番号】 1	【わけ】 かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。 (反応率30.7%)

指導の改善

【児童のつまづきを確認】

- かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことは記述できているが、かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことは記述できていない。

【学習指導のポイント】

二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察することができるようにする。

○ 場面や目的に応じて、単位時間あたりに移動する長さや、一定の長さを移動するのにかかる時間を速さと捉え、比べることができるようにすることが重要である。

○ 本設問を使って授業を行う際には、二人の歩く速さの比べ方を考察する活動が考えられる。

① 二人の歩く道のりとかかった時間を確認する。

② (道がまっすぐであることや曲がっていることに関係なく)二人の歩く道のりが等しい場合はかかった時間で速さを比べる。

③ 道のりが等しいだけでなく、かかった時間が短いことも説明する。

※道のり÷時間を用いて速さを求めることで二人の歩く速さを確認することができるようにすることも大切である。